南菅中学校区地域教育会議

活動方針：地域内の各団体、各学校のネットワーク化と活動の活性化。
学校の教職員に頼らない活動の仕組化

「わたしたちの町の防災を学ぶ会」

令和 5 年 11 月 18 日（土）、多摩消防署と多摩区役所防災危機管理室のご協力を得て、南菅中学校体育館で「わたしたちの町の防災を学ぶ会」を開催しました。当日は中学生を中心に 75 名が参加し、地震体験、消火訓練のほか、講義やカードゲームなどを通して防災について学びました。いつ起こるかわからない災害。防災への高い意識を持つとともに日常の備えがいかに重要かを再認識する会となりました。

1　地震体験　　震度７の揺れを体験！！

起震車に乗って震度７の地震を体験。率先して乗る人、尻込みする人、ドキドキしながら起震車に乗り込んでスタンバイ。揺れが徐々に強くなり、ついに震度７まで到達すると「こわ～い！」「もうムリ！」と悲鳴をあげ、家具や手すりにしがみついて体をこわばらせます。終了後、「本当に怖かった」「こんなに揺れるなんて想像してなかった」と疲れた表情の参加者。中にはタラップをフラフラと降り、イスに座って呼吸を整える人もいたほどです。地震は突然やってきます。安全な起震車での体験は、貴重な機会となりました。

2　消火器訓練

訓練では水を使用しましたが、火災現場では粉末状の消火液で消火します。いざというときに困らないように正しい手順や使い方をご指導いただきました。

3　「防災コンセンサス（合意形成）ゲーム」

テーマ「雪山遭難」

＜アイテム＞

1　24 弾入りライフル一丁
2　板チョコ 10 枚
3　固形油の入った金属管
4　ウイスキーひと瓶
5　スキーセット１式
6　サバイバルナイフ
7　新聞紙朝刊 5 日分
8　方位磁針
9　大箱入りマッチ
10　大型懐中電灯

雪山で遭難したときの対応について、グループで「遠く離れた街まで歩かず、その場で救助を待つ」と合意したうえで、自分たちが生き延びるために必要な 10 個（右上）のアイテムに優先順位をつけていくゲーム。

★正解　アイテムの優先順位は 9→2→3→10→7→１→6→5→4→8

（※理由は各自で考えてみてくださいね）

4　「なまずの学校」（防災カードゲーム）

地震で家が崩れ、タンスの下敷きになっている人を助けるのに手に入りやすく、使いやすいアイテムは？

「のこぎりでタンスを切ったら、下敷きになった人を傷つけちゃうかも」。意見を出し合って必要なアイテムを決めます。

地震などの災害で発生するさまざまなトラブルを紙芝居形式で出題し、その状況を解決するのに最もふさわしいアイテムをグループで話し合って決めるゲームです。

例）タンスの下敷きになった人を助けるために必要なアイテムは、 のこぎり、ジャッキ、角材、ロープ、フォークリフト、バールのうちどれ？

★正解　角材。

（※理由は各自で考えてみてくださいね）

「みんなで話そう すげっ子会議」開催

令和 6 年2 月28 日(水） 於:東菅小学校

子ども会議には南菅小、西菅小、東菅小の児童 37 名が参加してくれました。南菅中の生徒会の皆さんがリーダーとなり、6つのグループに分かれて“菅の町のよいところ”について話し合いました。最初はなかなか意見が出ませんでしたが、リーダーが率先して話すうちに、小学生も1人、2 人と話し始め、最終的にはどのグループも大盛り上がり。たくさんの意見が出ました。

「自然が多く畑での校外学習がある」「地域イベントで他校の子と交流できる」など話し合いで出た“菅の町のよいところ”を発表しました。